

「こんにちは」から始まる国際交流



KIFA

かにえ国際交流友の会

Kanie International Friendship Association

KIFA 国際理解講座

講演「私の国ネパールを紹介します」

当日参考資料

講師：サッキヤ・スロチョナさん
(SHAKYA SULOCHANA)



2004年11月就学生として来日、日本語の勉強
2012年3月長野大学企業情報学科を卒業
2012年4月長野県で就職
2016年1月東京で語学力の知識を発揮できる会社へ転職
2020年4月名古屋の運輸会社へ転職
現在、会社に勤めながら日本語の教室で外国人へのサポートを行っている。
言語：日本語、英語、インド語、ネパール語、母語（ネワール語）

講演内容

ネパールの自然や観光、文化、習慣、教育などを、画像を交えて紹介します。また、ネパールには人々に尊敬される曼荼羅（参照）を描く職人がいますがその職人等についても話します。

ネパールの国勢 政体：連邦民主共和制、面積：14.7万平方キロメートル（北海道の約1.8倍）、人口：約2920万人、民族：バルバチ・ヒンドゥー、マガル、タルー、タマン、ネワール、言語：ネパール語、宗教：ヒンズー教、仏教、通貨：ネパールルピー、GDP/人：約1190米ドル（日本：約39,300米ドル）
在留ネパール人：約97,000人（2021年）

曼荼羅とは：曼荼羅の語源の「マンダラ」とは、もともとサンスクリット語で“まるいもの”という意味です。巷でささやかれているような「マンダラはサンスクリット語で本質や神髄」というよりも、単にシンボリックな図柄を表現しているようです。曼荼羅（まんたら）とは密教で生まれた絵で、仏様の世界や悟りの境地が描かれています。



ネパールの国旗：王家と宰相家が使用していた三角形の旗をくっつけたものです。今は、ヒマラヤの形と、二大宗教であるヒンズー教と仏教を意味しています。国花のシャクナゲ色の赤は国民の勇敢さを表し、縁取りの青は平和を表しています。その中に描かれているものは月と太陽です。

日時：8月21日(日) 13:30~15:00

場所：蟹江町産業文化会館 4階大会議室

使用済み切手提供のお願い 捨てられてしまうとゴミになる使用済み切手が世界の子どものための支援につながります。切手のまわりを1cm程度の余白を残して切り取り、KIFAの行事等で役員にお渡しください。